

第4回「度島まちづくり塾」の様子

①ホームルーム



第4回目となる「たくしま塾」には、黒田市長さんがいらっしゃいました。黒田市長さんは、挨拶で、「中学生の血気盛んな時期に、自分たちの住んでいる度島の問題店や、お宝について考える事はとても素晴らしいことです。このようなシステムが構築され、他の中学校でも広められたらいいと思います。」と述べられました。「たくしま塾」は、平戸市の先頭を走っているといえる事業を生徒達は行っています。

②ワークショップ（振り返り）

前回のたくしま塾から少し時間が経っていたので、これまでの振り返りを行いました。過去に行ったワークショップで書き溜めたものを利用し、始めは、自分たちが知っている度島について、2回目は、「まちあるき」を行って新たに気づいたこと、3回目は、「課題をどうしたら解決出来るか?」「お宝をどうしたら伸ばせるか?」など、生徒達は、思い出しながら、今回のテーマである「手の打ち所」について取り組みました。



③ワークショップ（その2）



今回のワークショップでは、前回より具体的に意見を出し合いました。それから、意見を「地産地消の度島」、「観光スポットの度島」、「人が多くて賑やかな度島」、「花いっぱいので島」などのテーマに分けて、度島がこんな島になったらいいな（可能的将来）」と「このままだとこんな島になってしまうかもしれない（成り行きの将来）」について考えました。

④発表

今回の発表では、「度島で採れたものを島外に売って資金を得る。」「ゴミの多いところや荒地を花壇にして、ツーデーウォークなどをする。」「貸せる家や土地を設ける。(空き家や空き地を利用する)」「海や山を使い島の素晴らしさを紹介する。」「度島を遊べる島にして、仕事の案内人を雇い子供に遊びに来てもらう」など、大人顔負けのすばらしい意見が出されました。



⑤まとめ



今回のたくしま塾は、第3回に行った、「手の打ち所」について、更に具体的に、それぞれのテーマを意識して、取り組んでももらいました。生徒達からは、黒田市長さんが来ているせいか、いつも以上にとてもいい意見が出されていました。「たくしま塾」も終盤になり、次回は、「まちづくり意見書」として、これまで行ってきた、「たくしま塾」が実を結びます。

⑥市長講話

今回は、全中学生を対象に、「平戸市のトップリーダーに学ぶ！市長の熱血教室！！」と題し、講話をいただきました。その中で、これからの度島に願うこと、「度島のまちづくりの活動は、行政に任せるとはではなく、自分たちから進んで事業を行っています。つまり、政治家と同じ事を皆さんは行っているのです。人口減少について、皆さんが、導き出した答えと、私が思っていることはとても似ています。この答えをより現実的にするために、皆さんが行っている活動がとても重要になります。」と生徒達に対してとても熱い気持ちのこもった講話をしてくださいました。

